



ホームステイ

ようこそ 倉吉へ!



我が家にホームステイをする女の子は、とてもかわいらしい人だったのですね。仲良くなれました。

まず、初日は足湯に行きました。足湯をなかなか説明できなくて、結局、実際に私が入ってみせ、彼女もおそろのおそろ、私と同じように足湯に入りました。温かくてとても気持ちいいと喜んでくれました。

二日目は一緒に買い物に行き、食品売り場でキャラクターのふりかけや、お菓子など、韓国には売っていないものを買いました。

お好み焼きを作ることが初めてで、チャレンジして楽しんだり、枝豆の食べ方を教えてあげ、一皿たいらげたことなど、たった二日間でしたが、とても楽しい思い出ができました。家族も大変だったけどとてもよかったと言っています。別れる時は本当に涙が出てしまいました。

もっと英語をしゃべることができれば、いろいろな事を教えてあげたり、気を使ってあげることができたのになあと反省しています。この出会いを大切に、ぜひ彼女とずっと友達でいたいと思います。機会があれば、また、ホームステイ先を我が家で受けたいと思います。

二年五組 阿部 竜之

僕はテフンとウォンヒの二人を受け入れました。事前に渡されたプリントには十八歳と書いてあり、年上かと思ひ、会う事に緊張していました。でも、二人とも知り合って間もない僕に色々話しかけてくれたり、日本の基準では同年だとわかつたりして、緊張が



はぐれていきました。家に帰ると僕はすぐに温泉に行き、露天風呂に入りました。湯船に入っている時にそれぞれが自分の事や韓国の事、日本の事を話しました。

次の日は三、四限目にオリジナルタンブラー作りをしました。事前に自分が気に入った日本の風景の画像を選んでいました。それをみてテフンはすぐに僕の選んだ画像を印刷してタンブラーにしました。その後は二人が好きな画像を選んでいました。夜にはお好み焼きを食べに行きました。二人ともお好み焼きを食べたことがなかったのでも目の前で調理されているお好み焼きに興味津々でした。その後僕はカラオケに行きました。二人とも歌がとても上手でした。最後の日は歩いて学校へ向かい歩きました。僕は色々な話をしながら写真を取り、二人は他の安養の生徒達とホームステイについて話していました。見送る時には互いに手を振り、僕は笑顔で見送りました。

三年二組 米田 薫生

まず最初に、ホームステイを受け入れた三日間はとてもあつという間で、忙しく、でも何より一番楽しかったです。会議室で Hyatt Lee に会ってすぐ、打ち解けることができました。なぜなら、Hyatt Lee はとても優しい子で、日本語も上手だったからです。また Hyatt Lee に限らず、安養の生徒はみんな友好的でした。親日家が多かったような気がします。

初日に私たちはまずパープルタウンに行きました。あじそで買いたい物をしたり、ウインドーショッピングを楽しんだり、プリクラを撮ったりしました。その後に、道頓堀で晩ごはんをとりました。私は Hyatt Lee が笑っていたのが嬉しかったです。

二日目はもう、その夜がホームステイ最後の夜だったので、友達も呼んで、手巻き寿司を食べました。私の母は料理が苦手だといつも言っていますが、その夜は腕をふるってくれました。私たちは満腹になるまでたくさん食べました。そして、その夜は文化や音楽、政治やその他のいろいろのことについて、深夜十二時過ぎまで、ずっとしゃべりました。

私はまさか自分がホームステイを受け入れるなんて思いもしませんでした。私はかなり人見知りだし、母も受け入れることについてあまり乗り気ではなかったからです。しかし今となっては、とてもよい時間をすごせたと思っています。ホームステイに興味がある人だけでなく、ない人にもホームステイを受け入れることを勧めます。それは絶対に、貴重な経験になるとと思います。

アンケート

◎好評だったもの・事

・寿司・お好み焼き（道頓堀）・TSUTAYA・プリクラ・日本のキャラクター

◎不評だったもの・事

・味噌汁（具）・野菜・うめ干・正座

◎困ったこと

・言葉が通じない（英語が話せれば…）
・日程に余裕がなかった（もう一日あればよかった）

◎楽しかったこと

・買い物・バスや汽車での移動
・日本の田舎の風景に喜んでくれた

